

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ～ （英語）」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 （英語・フランス語・スペイン語・中国語）」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

外国語 （英語）では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。

1. 文の基本要素
2. be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
3. 一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
4. wh疑問文
5. 名詞・冠詞
6. 代名詞
7. 進行形（平叙文・否定文・疑問文）
8. 助動詞
9. 形容詞・副詞
10. 比較
11. 命令文
12. 接続詞
13. 関係代名詞
14. 接続詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したプリントから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定のプリントのユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

第1週 Introduction 第2週 Unit1 第3週 Unit2 第4週 Unit3 第5週 Unit4

第6週 Unit5 第7週 Unit6 第8週 Unit7 第9週 Unit8 第10週 Unit9

第11週 Unit10 第12週 Unit11 第13週 Unit12 第14週 総復習(1) 第15週 総復習(2)

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。

- (1) 期末試験：60パーセント
- (2) 平常点： 40 パーセント（単語テスト[毎週]、小テスト、予習、課題提出）

授業外学習

【事前予習】プリントの指定箇所を予習する

【事後学修】単語や文法事項を覚える

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（生活情報初級クラス）

【教科書】プリントを配布する

【参考図書・辞書等】 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	1Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語Iの単位を取れなかった学生は昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語Iでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標としたうえで、この上級クラスでは、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

講義計画：英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

内容

第1週 文の基本要素(1) 第2週 文の基本要素(2)

第3週 名詞 In the Doghouse 第4週 冠詞 Words

第5週 代名詞(1) Save the Children 第6週 代名詞(2) Freedom for All

第7週 時制(1) Portable Music 第9週 時制(2) Michelle's Letter

第9週 時制(3) Fashion 第10週 助動詞(1) Travel Preferences

第11週 助動詞(2) Practicing Mottainai 第12週 態(1) The Goblet of Fire for an Older Audience

第13週 態(2) 19th Century America 第14週 WH疑問文

第15週 まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

(1) 前期・後期試験： 60%

(2) 平常点：40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】北山長貴, Margaret Yamanaka, 福井慶一郎『Mastering Basic English Grammar-基礎英文法とリスニング演習』成美堂

【推薦書】授業で適宜紹介します。

【参考図書】授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	10クラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（情報）／中学校教諭一種免許状（社会）／高等学校教諭一種免許状（公民）／高等学校教諭一種免許状（英語）／中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目は社会情報学部の必修科目「基礎英語Ⅰ」の再履修者のための科目です。2010年度以前に入学し「基礎英語Ⅰ」の単位が取れていない学生は履修してください。科目の「基礎英語Ⅰ,ⅡⅢ」は読む、書く能力に力点を置いたものでした。

科目の概要

この授業は、リーディング、ライティング力を重点的に強化することを目標として、そのための能力の養成を目指します。

学修目標（＝到達目標）

日常生活に必要な程度の基本的なリーディング、ライティング能力の養成を目指します

内容

1	Introduction（導入説明）
2	The Road Ahead（動詞：be動詞と一般動詞）
3	Running with the Olympic Flame（疑問文）
4	Walk Your Way to the Figure You Want（名詞や冠詞）
5	English in Singaporean Culture（代名詞）
6	Nature's Way（進行形）
7	The Monkeys Who Made a Dictionary（助動詞）
8	Cloning（形容詞と副詞）
9	Nonverbal Communication(比較)
10	.Pushing an Elephant Yp the Stairs（不定詞、分詞、動名詞）
11	True Love（命令）
12	Henri's Windows（受動態）
13	Pet Therapy（完了表現）
14	Small Things with Great Love(前置詞や接続詞)
15	まとめ

評価

授業への参加度20%、発表20%、筆記60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】通常30程度の予習。発表者は1時間程度。

【事後学修】間違った所を復習。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【【教科書】Original Essay written by J. Richards (オリジナルプリント)

J. Richards "Four Corners" Cambridge University Press

【推薦書】『英語脳強化メソッド 速聴×速読』(DHC)

【参考図書】

科目名	基礎英語		
担当教員名	向後 朋美		
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年	4	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目は社会情報学部の必修科目「基礎英語II」の再履修者のためのものですので、2010年度以前に入学し「基礎英語II」の単位が取れていない学生は、必ず全員履修してください。「基礎英語II」の再履修者以外は受講できません。（2010年度以前入学生の必修科目「基礎英語II, IV」は、聴く、話す能力を重点的に強化することを目標としていました。同じく必修科目の「基礎英語I, III」は読む、書く能力に力点を置いたもので、基礎英語IからIVを履修することによって英語の4技能を身に付けることができるようになっていました。）

科目の概要

この授業は、リスニング、スピーキング力を重点的に強化することを目標として、日常生活に必要な程度の基本的なリスニング、スピーキング能力の養成を目指します。

学修目標（=到達目標）

日常生活に必要な程度の基本的なリスニング、スピーキング能力の養成を目指します。

内容

第1回：オリエンテーション

後期で使用する音声配布や授業の進め方などの重要な説明がありますので、必ず出席してください。

第2回～第13回：

毎回リスニング・ディクテーションの演習を行います。翌週には前週の復習小テストを行います。

第14,15回：まとめと全体の復習

評価

(1) 期末試験 50%

(2) 平常点 50% （復習の小テスト, 単語・リスニング・スピーキング、課題提出）

とし、総合評価60点以上を合格とする

授業外学習

【事前予習】次回に学習する課の単語を調べておくこと

【事後学修】終了した課のリスニングとディクテーションを再度行うこと

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

第1回目の授業で指示します。

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通外国語科目のうちの選択必修科目です。さらに英語を学びたい場合は、メディアコミュニケーション学科専門科目のランゲージスキル科目や、2年次以降の「外国語 ～ （英語）」を選択します。なお、英語教職課程履修者は「外国語 （英語・フランス語・スペイン語・中国語）」のうち、この科目を必ず履修して下さい。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

外国語 （英語）では、入学時のプレースメントテストにより3レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標とした上で、この初級クラスでは語彙力、平易な英文を読みとる力、短文が書ける力を養成します。

内容

英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます（順不同）。

1. 文の基本要素
2. be動詞（平叙文・否定文・疑問文）
3. 一般動詞（平叙文・否定文・疑問文）
4. wh疑問文
5. 名詞・冠詞
6. 代名詞
7. 進行形（平叙文・否定文・疑問文）
8. 助動詞
9. 形容詞・副詞
10. 比較
11. 命令文
12. 接続詞
13. 関係代名詞
14. 接続詞

また語彙力を高めるために、授業で使用したプリントから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

上記にあげた文法項目を、指定のプリントのユニットに沿って、次のスケジュールで学習します。

- 第1週 ガイダンス 第2週 Unit13 第3週 Unit14 第4週 Unit14(2) 第5週 Unit15
 第6週 Unit16 第7週 Unit17(1) 第8週 Unit17(2) 第9週 Unit18(1) 第10週 Unit18(2)
 第11週 Unit19(1) 第12週 Unit19(2) 第13週 Unit20 第14週 総復習(1) 第15週 総復習(2)

評価

以下の割合で点数化し、60パーセント以上を合格とします。

- (1) 期末試験：60パーセント
- (2) 平常点： 40 パーセント（単語テスト[毎週]、小テスト、予習、課題提出）

授業外学習

【事前予習】プリントの指定箇所を予習する

【事後学修】単語や文法事項を覚える

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

（生活情報初級クラス）

【教科書】プリントを配布する

【参考図書・辞書等】 授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Bクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、共通科目の外国語科目のうちの必修科目で、2レベル（初級・上級）のうちの上級クラスです。昨年度の基礎英語IIIの単位を取れなかった学生は昨年度のクラスレベルに従って、登録するクラスを選んでください。さらに英語を学びたい場合は、社会情報学部の英語実践科目群や、共通科目の外国語選択科目を選択します。

英語で発信・受信する場合に必要な英語の文の構造に関する知識、すなわち英文法の総復習をします。同時に、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

基礎英語IIIでは、入学時のプレースメントテストにより2レベルのクラスを編成し、英文法の総復習を全レベルのクラスの第一目標としたうえで、この上級クラスでは、語彙力、平易な英文を読み取る力、短文が書ける力に加えて短文を聞き取る力を養成します。

内容

講義計画：英語の文の構造を理解する上で役に立つ基本文型をはじめとして、以下のような基本的文法事項を確認していきます。また語彙力を高めるために、授業で使用したテキストから毎週単語の小テストを行います。英語に限らず語学の学習の鉄則は「少しずつでもいいから毎日取り組む」ことです。確実に基本を身に付けるには、単語の意味を事前に調べる、学習した文を繰り返し音読するなどの毎週の予習・復習を欠かさず行ってください。

内容

- 第1週 前期の復習 第2週 不定詞(1) Lifelong Learning
 第3週 不定詞(2) Peter's Story 第4週 分詞(1) Perfumed Messages
 第5週 分詞(2) Eggs 第6週 動名詞(1) Smoking
 第7週 動名詞(2) Discover the World 第8週 形容詞・副詞 Mongolia
 第9週 比較(1) Growing Old in Japan 第10週 比較(2) Calvin & Hobbes
 第11週 関係詞(1) Charlotte's Story 第12週 関係詞(2) Santa
 第13週 仮定法(1) Self-esteem 第14週 仮定法(2) An Important Question
 第15週 まとめ

評価

以下の割合で点数化し、60 %以上を合格とします。また、合格点に満たなかった場合は再試験を実施します。

- (1) 前期・後期試験： 60%
 (2) 平常点：40% （単語テスト（毎週）、小テスト、予習、課題提出）

授業外学習

【事前予習】教科書の指定箇所を必ず予習して授業に臨んでください。

【事後学修】授業で学習した単語や表現を再確認し覚えてください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】北山長貴, Margaret Yamanaka, 福井慶一郎『Mastering Basic English Grammar-基礎英文法とリーディング演習』成美堂

【推薦書】授業で適宜紹介します。

【参考図書】授業で適宜紹介します。

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	2Cクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

科目の性格

この科目は社会情報学部の必修科目「基礎英語III」の再履修者のための科目です。2010年度以前に入学し「基礎英語III」の単位が取れていない学生は履修してください。科目の「基礎英語I, III」は読む、書く能力に力点を置いたものでした。

科目の概要

この授業は、リーディング、特にライティング力を重点的に強化することを目標として、そのための能力の養成を目指します。

学修目標（=到達目標）

日常生活に必要な程度の基本的なリーディング、ライティング能力の養成を目指します

内容

1	Introduction（導入説明）
2	Did he tell you to stop ... (動詞: be動詞と一般動詞)
3	Did he tell you to stop (他動詞、疑問文)
4	I could have had an older sister.. (群動詞)
5	I could have had an older sister. (群動詞)
6	Why don't we just keep it our little secret? (文型)
7	Why don't we just keep it our secret? (基本時制)
8	All right, it's time to start!(時制の基本)
9	All right, it's time to start(進行形)
10	How about an hour's worth?(不定詞、分詞、動名詞)
11	How about an hour's worth....?(命令)
12	I imagine the life of a surgeon can be very rewarding.(完了系)
13	I imagine the life of a surgeon (完了表現)
14	Small Things with Great Love(前置詞や接続詞)
15	まとめ

評価

授業への参加度20%、発表20%、筆記60%とし、総合評価60点以上を合格とする。

授業外学習

【事前予習】通常30程度の予習。発表者は1時間程度。

【事後学修】間違った所を復習。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【【教科書】Original Essay written by J. Richards (オリジナルプリント)

J. Richards "Four Corners" Cambridge University Press

【推薦書】『英語脳強化メソッド 速聴×速読』(DHC)

【参考図書】

科目名	基礎英語		
担当教員名			
ナンバリング			
学 科	社会情報学部-共通		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係	高等学校教諭一種免許状（英語） / 中学校教諭一種免許状（英語）		

ねらい（ 科目の性格 科目の概要 学修目標）

この科目は、社会情報学部の必修科目「基礎英語Ⅳ」の再履修者のためのものですので、2010年度以前に入学し、「基礎英語Ⅳ」の単位が取れていない学生は必ず全員履修してください。

(2010年度以前入学生の必修科目「基礎英語Ⅱ，Ⅳ」は、聴く、話す能力を重点的に強化することを目標としていました。同じく必修科目の「基礎英語Ⅰ，Ⅲ」は読む、書く能力に力点を置いたもので、基礎英語ⅠからⅣを履修することによって英語の4技能を身に付けることができるようになっていました。)

この授業は、リスニング、スピーキング力を重点的に強化することを目標として、日常生活に必要な程度の基本的なリスニング、スピーキング能力の養成を目指します。

内容

教科書の最後の3つの文章は、この本が日本語版になった時に足されたものだそうです。これらを実技テストにするために第5，10，15週に学びますが、それ以外は紙面の順通りに進めます。教科書はたまたま30日で学習する構成になっていますが、15週かけて学びます。

1	Day 1+2	Traffic Light - 交通信号
2	Day 3+4	Bike Ride - 自転車に乗る
3	Day 5+6	Train Ride - 列車旅行
4	Day 7+8	See You at the Movies - 映画館で会いましょう
5	Day 25+26	Nadeshiko JAPAN - なでしこJAPAN
6	Day 9+10	i'm lovin' it - みんな大好き!
7	Day 11+12	Off to School - 学校へ
8	Day 13+14	Rainbows - 虹
9	Day 15+16	Happy Birthday to You - お誕生日おめでとう
10	Day 27+28	A Big Earthquake - 大地震
11	Day 17+18	Winter Wonderland - 冬のワンダーランド
12	Day 19+20	Snack Time - おやつ時間
13	Day 21+22	Story Time - お話時間
14	Day 23+24	Just Google It - ちょっとググってみて
15	Day 29+30	The Golden Hall of Chuson-ji - 中尊寺金色堂

評価

第5，10，15週の音読実技テストの得点を各20点×3、平常の授業への参加状況を40点とし、総合評価60点以上を合格とします。

授業外学習

【事前学習】 付属CD-ROMと巻末の和訳を使って、各ユニットを1時間程度予習・音読練習してください。また、上記印の文章の音読は評価対象としますので、早くからよく練習してください。

【事後学修】 頻出する単語の正しい発音を忘れないように、ときどき朗読し直してください。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 パク クァンヒ・カナダ教師英語朗読訓練研究チーム 著/鈴木政浩監修 『みんなの英語音読 入門編』アスク出版。